

事業計画書の問題点

2014 年 8 月 30 日

国土問題研究会

赤穂市管理型最終処分場問題調査団

赤穂市福浦地区に計画されている管理型産業廃棄物最終処分場について、事業者である奥栄建設株式会社から提出された「設置計画書」が、平成 25 年 10 月 10 日～11 月 8 日の 1 ヶ月の短期間で地域住民に縦覧し、11 月 24 日迄に意見書の提出期限を設定されていた為に国土問題研究会（略称：国土研）は、急遽、11 月 16 日の現地調査と 11 月 24 日に意見書を提出した。意見書の中で、基礎的な調査不足、当該地の基礎的な地質のルートマップの不明確さなどいずれについても問題のある事について指摘するとともに、場内調査と更に詳細な判断出来る資料について要求してきた。

場内の入場については再三再四要求して、漸く、2014 年 3 月 8 日に事業者より許可があり、地元から要請により採石場内の地質踏査を実施した。

更に、3 月 12 日付けで兵庫県西播磨県民局より、日本共産党杉本県会議員へ予てから開示請求していた資料が漸く送付された。以下の内容である。原書はカラーコピーであるが、何れも白黒であり分かりにくかった事は事実である。

付帯資料（1）ルートマップ（地質区分）

付帯資料（2）ルートマップ（岩級区分）

付帯資料（3）地質区分平面図

付帯資料（4）岩級区分平面図

付帯資料（5）想定断面図（地質区分）

付帯資料（6）想定断面図（岩級区分）

これらの資料の精査と現地調査の結果から、当計画地の問題点を検討した。